

平和への祈り

今年で24回を迎えた広島平和祈念式典派遣事業の報告会が、9月14日追分公民館で開催されました。

8月5日から7日の日程で参加した6名の児童生徒たちは、事前研修で派遣事業の目的や意味を自らが考え、広島で学んだ平和や戦争について一人ひとりが発表しました。

現地に行つて更に感じた戦争の悲惨さや原爆の恐ろしさ。戦争をやめる勇気があれば原爆投下が無かつたと思うことなど、それぞれの視点や感じ方に違いがあつても、この経験を身近な人やいろいろな人に伝えていける存在にな



りたいという気持ちは一致していたようでした。

派遣者（平和大使）

石田基広くん（追中3年）
定池朋美さん（早中2年）
岡 将史くん（追小6年）
畠山楓花さん（早小6年）
勝又 遙さん（遠小6年）
澤田みのりさん（安小6年）
引率・水上 歩（教育委員会）

平和祈念式典



9月3日追分公民館で行われた安平町平和祈念式典に、広島に派遣された児童生徒たちも参加して花束の奉呈、平和への誓いや核兵器廃絶平和の町宣言を担い、戦没者への追悼とともに平和へ祈念を新たにを行いました。

交通安全は

みんなの願い

第2回安平町交通安全総決起大会が9月21日、追分公民館で開催されました。

交通事故死亡事故が多い北海道ですが、安平町民一人ひとりが交通安全を真剣に考え、一丸となつて交通事故を絶対に「起こさない、起こさせない」取り組みを行うことを目的として開催されました。

大会に向けて、町内の小学校5年・6年生から募つた240点の交通安全スローガンの入選作品の表彰が行われました。

最優秀賞 1作品

『かくにんで 命を守る みぎひだり』
鈴木妃麗さん（安小5年）



最優秀作品は、今後3年間「安平町交通安全スローガン」としてポスターや看板等、啓発活動に利用されます。

優秀賞 2作品

『あわてるな 一つの油断 命取り』
菊地 巧くん（追小5年）

『はつとした そのしゅんかんは もうおそい』
吉田麻里子さん（早小5年）

佳作 4作品

『人ぶつけ 一生背負う 重い罪』
佐竹優悟くん（追小5年）

『見なれた道も マナーやぶると危険を生む』
水元溪也くん（安小6年）

『考えよう 事故にあつたら 悲しむ人を』
土屋瑠奈さん（早小6年）

『事故がおき 後悔しても もうおそい』
坂井瀬南さん（遠小5年）



総決起大会に、華を添えた北海道警察音楽隊の演奏やカラーガード隊との共演。当日参加した400人以上の子どもからお年寄りまでの方々を魅了しました。

現在、安平町の交通事故死亡事故ゼロの日は687日（大会日現在）となっております。秋の輸送繁忙期を向かえるにあたり、交通安全運動も10月12日から21日まで実施されます。

一人ひとりが交通安全の意識を持つて交通事故をなくしましょう。



9月26日 追分幼稚園の園児たちは、交通安全教室でルールを学んだあと、街中で交通安全の呼びかけを行いました。